

科目区分	教養科目	授業科目名	中国語 I				科目コード	26B012	担当者	塚 蘭			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	演習	履修条件							教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分				
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項				

授業の主題	簡単かつ実用的な中国語の日常会話と文章の読解力を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	講義での不明点等は、適宜受け付けます。
授業の方法	毎回の実用会話の練習、中国語の特徴などを紹介。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	第一課・中国語の概要、発音	中国語の構造特徴を知る。	第9回	数詞の使い方 (一) 実用会話練習	「几」の使い方の復習	
第2回	声調と声調の変化、簡単なあいさつ	正しい声調を覚える。	第10回	汉语怎么说? 実用会話練習	副詞について復習する。	
第3回	簡単かつ実用的会話練習	簡単な自己紹介を習得。	第11回	形容詞述語文、疑問文について	実用会話を練習する。	
第4回	疑問文	中国語の基礎文法について復習する。	第12回	様態補語 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話練習をする。	
第5回	否定文・形容詞述語文・実用的会話練習	中国語の形容詞の特徴について復習する。	第13回	数詞の使い方 (二) 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話練習をする。	
第6回	助詞「呢」、「吗」の使い方	「呢」、「吗」の使い方を復習する。	第14回	助動詞「会」 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話練習をする。	
第7回	動詞の重ね型・実用的会話練習	助詞「的」と動詞の重ね型	第15回	中国語の発音、声調構造等の総復習	テキストを参考にしながら会話練習をする。	
第8回	疑問文「是不是」、「有没有」	疑問文の復習			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	未来をひらく入門中国語/劉頌浩・町田茂/朝日出版社	受講生へのメッセージ	テキスト以外の実用会話を毎回練習することで、少しずつ中国語を理解し、楽しく実用中国語を身に付けましょう。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

評価基準																	
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率(%) 学修成果の(%)	評価方法の配点比率(%)						学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)	レベル1 (F : 59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲	50					50	疑問があれば積極的に質問ができる。自主的に遅刻・欠課後のフォローができる。	向学心、真面目さ	積極的な質問等	疑問があれば積極的に質問ができる。自主的に遅刻・欠課後のフォローができる。	疑問があれば積極的に質問ができる。ある程度自主的に遅刻・欠課後のフォローができる。	疑問があれば質問ができる。自主的な遅刻・欠課後のフォローが遅れた。	疑問があっても積極的に質問ができない。自主的な遅刻・欠課後のフォローができない。	疑問があっても質問ができない。遅刻・欠課後のフォローができない。	
		② 規律性															
	知識・技能	③ 知識	50	50					基礎中国語の発音や文法を習得し、会話に応用することができる。	簡単かつ実用的な中国語の日常会話と文章の読解力	筆記試験、口頭試験	基礎中国語の発音や文法を習得し、会話に応用することができる。	基礎中国語の発音や文法をある程度習得し、会話に応用することができる。	基礎中国語の発音や文法をある程度習得し、会話に応用することができる。	基礎中国語の発音や文法を習得しているが、会話に応用することが難しい。	基礎中国語の発音や文法を習得しておらず、会話に応用することができない。	
		④ 技能															
	思考・判断	⑤ 情報活用能力															
		⑥ 課題解決力															
	表現	⑦ 言語活用能力															
		⑧ コミュニケーション力															
	実践	⑨ 主体性															
		⑩ 協働性															
合計			100	50				50									